

日本物理学会領域 2 運営会議 議事録案

日時: 2021 年 9 月 22 日(水) 18:00－19:00

Zoom オンライン開催

司会：領域 2 代表 稲垣、参加者 26 名、書記：山田

事前配布資料：領域 2 運営会議-オンライン 20210922_v1.pptx

報告・議論事項

- 1) 2021 年 10 月からの役員体制・役割分担
- 2) 2022 年 4 月からの領域代表、副代表の推薦
- 3) 第 76 回(2021 年)年次大会学生優秀発表賞に関する報告
- 4) 米沢富美子記念賞 授賞候補者の募集について
- 5) 第 77 回(2022)年年次大会 シンポジウム・招待講演等の提案
- 6) 領域委員会報告
- 7) 確認事項
- 8) 講演件数の推移
- 9) 講演概要集提出率
- 10) その他

報告・議事内容

- 1) 2021 年 10 月からの役員体制・役割分担

下記体制を承認した。

領域代表 稲垣 滋 (九州大学)

領域副代表 千徳 靖彦 (大阪大学)

領域前代表 金子 俊郎 (東北大学)

運営委員 (小林、佐野、沼田、本島、相羽、福田)、役員 (薮内、四竈、斎藤)

役員会議・運営会議の設定等は相羽・福田、物理学会との連絡責任者は福田。

2022 年 10 月からの次期役員の候補 年内まで立候補待ち (領域代表まで連絡)

- 2) 2022 年 4 月からの領域代表、副代表の推薦

2022 年 4 月からの役員体制を承認した。10/25 までに物理学会に推薦書提出

次期領域代表 千徳 靖彦 (大阪大学)

次期領域副代表 藤堂 泰 (核融合科学研究所)

3) 第 76 回(2021 年)年次大会学生優秀発表賞に関する報告

38 名の応募者から、以下 5 名を選出。

- 浅野 将唯 (阪大レーザー研)
「マルチピクセルフォトンカウンター (MPPC) を用いた高感度・高速応答中性子計測器の開発」
- 川崎 昂輝 (阪大レーザー研)
「レーザー核融合の衝撃波点火方式における高速電子の衝撃波圧力に及ぼす影響の評価」
- 森下 侑哉 (京大院工)
「データ同化を用いた LHD プラズマにおける輸送係数の評価」
- 横山 達也 (東大新領域)
「データ駆動アプローチとシミュレーションを合わせた放射崩壊前駆現象の考察」
- 米田 奈生 (京大院工)
「QUEST における水素分子 d3P 準位回転温度を利用したタングステン表面温度計測」

4) 米沢富美子記念賞の募集と審査について

最終学位取得から 15 年以内に緩和 (修士・博士の学生も応募可)

領域 2 から、2 名を上限として授賞候補者を推薦することができる。

領域 2 の推薦締め切り：2021 年 11 月 5 日(金)

提出先：領域副代表 千徳

積極的に候補者にお声がけし、立候補を促していく。

昨年度は領域 2 から 1 名を推薦。

5) 第 77 回(2022)年年次大会 シンポジウム・招待講演等の提案

企画講演 (0 件提案)

招待講演 (1 件提案)

小林 達哉 (核融合科学研究所)

若手奨励賞受賞記念講演 (最大 2 件)

シンポジウム (3 件提案)

「プラズマの位相空間ダイナミクスとエネルギー移送」(説明：藤堂)

「プラズマサイエンスの新展開」(説明：坂本)

「多粒子種(多元)プラズマにおける創発的機能に関する研究の新展開 (仮)」

運営会議で説明し、承認を受けた。引き続き 10 月下旬まで受付中。提案者は申し込みの前に領域代表にメールで提案すること。運営会議後はメール審議。

企画セッション 募集中 他領域との合同も可

2021 年秋季大会より「トリガーを捉えるメタステート科学」(発表 17 件)

6) 領域委員会報告

オンライン開催の是非: オンライン開催については概ね成功。(今後どちらかをオンライン開催にするなら、領域 2 としては秋季大会のオンライン化を希望する。)

オンライン開催時の運営費について: 一部だけ削減でき可能な範囲で還元している

講演の英語対応について: 理事会へ差し戻し、次回以降の委員会で再審議

7) 確認事項

- ・ PlasmaML の運用: 添付ファイルは 1MB 以下。受賞報告可。

不適切なメールは領域 2 代表の責任下で役員会の了承のもと削除できる

- ・ 招待講演: 共著者は提案者になれない。〇〇Group や〇〇Team に注意。

- ・ シンポジウム: 原則 3.5 時間以内、提案書では必ず reference を挙げる。

8) 講演件数の推移

一般講演 115 件。

秋季大会のオンライン開催は参加者が現地開催よりも多いかもしれない。2021 春はコロナ禍で実験ができなく減ったのではないか。他の領域も減少した。

引き続き、講演者数増加の対応策を検討していく。

9) 講演概要集提出率

領域 2 の提出率は 96% と非常に高い。

講演者数 127 (シンポジウム含む) は、領域 3~10 がひとまとまりであることを考えると、あまり多いとは言えない。

10) その他

- ・ 懇親会: 9 月 22 日(水) 19:30-21:00 (運営会議終了後 Zoom で開催)

飲食は各自準備。

以上